共通の発祥地

世界でも最も人気のある武術のひとつである空手は、沖縄で生まれました。日本語で「空の手」という意味の空手では、素手と素足のみを使って戦います。（空手と関連のある古武道という武器を用いる武術は、空手と並行して発展しました。）琉球王国の王府が置かれた首里は、空手の起源と密接なつながりを持つ場所のひとつです。首里は、歴代の琉球王によって泡盛造りが許された首里三箇がある場所でもあります。このことから、空手と泡盛という世界中でよく知られる沖縄の二大文化は、ともに発展したと言えるでしょう。琉球王国には泡盛ほど高価なものはほとんどなかったため、貴重な泡盛を盗人から守るため空手が使われた可能性もゼロではありません。